

事業名	令和5年度 SSR 等担当教員研修会
開催日	令和5年6月22日（木）
会場	いわき合同庁舎

今年度1回目となるSSR等担当教員研修会が開かれました。今年度は指定校として市内の4校が、他にも複数校が独自の運営を進めてくださっています。

今回は、市内11校の小中学校の先生方が集まりました。現段階での利用状況や課題、効果があった事例などを共有しました。



～各校から出していただいた取組の一部をご紹介します～

SSR 設置校

- ・ 「教室に入りにくい、SSR なら来ることができる」と感じている子どもにとっての新たな居場所・学びの場所になっている。
- ・ 「教室にいるのが疲れた」と感じる子どもが、短期間 SSR を利用し、再び自教室に戻ることがあった。
- ・ 担当教員が常駐できることで、サポート体制がしっかりできている。保護者からも、校内の相談窓口の一つとして周知されつつある。
- ・ 一人一人のカルテを作成し、その子に合わせたスモールステップで指導している。
- ・ 授業で配付した学習プリントは、確実に SSR の子にも渡すようにしている。
- ・ 担任が毎日来室し、子どもと関係作りをしている。担任、教科担任等が週1回程度補習授業を行って、学習をサポートしている。
- ・ 学習サポートを継続することで、自信がつき、定期テストを受けることができた生徒がいる。

独自設置校

- ・ 空き教室を利用して設置。生徒支援加配教員が常駐し、一人一人の学習サポート・生活サポートを行っている。
- ・ 常駐できる教員はいないが、空き時間の教員、養護教諭、教頭、支援員など、常に誰かが関わるができるようにしている。教職員間での情報共有が重要。
- ・ 学年主任、担任等が本人や家庭にアプローチ(電話、家庭訪問)し、抱えている課題や悩みについて聴いたり、課題解決策について話し合ったりしている。
- ・ 先生方に協力してもらい、学習プリントやお便りを、その日のうちに別室に来ている子にも届くようにしている。
- ・ 学習のフォローを継続することで自信がつき、定期テストを受けることができた生徒がいる。